



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

東京新都心ロータリークラブ【いつも元気だ！新都心】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 小川恵司 幹事 伊豆隆義 創立：1988年9月21日

「END POLIO NOW = 気づきと実行 =」

国際ロータリー 第2580地区

ロータリー財団 2021-2022 ポリオプラス委員長 川松 保夫 氏

本日はポリオプラスの卓話のお時間を頂戴し、誠に有難うございます。本日はまず「日本におけるポリオの難しさ」を皆さんにご説明したいと思います。まずご説明したいのは、日本においてはポリオ患者の姿を見ることが殆どなく、かつその昔は「小児麻痺」と言われており、「ポリオ」という呼称は比較的新しいもので、しかも主たる戦場はアフガニスタンとパキスタンという遠い国、これでは根絶したのではないかという誤解が蔓延するのも無理はないと思います。次にご説明したいのは、ポリオという疾病の特徴でもあります、保菌者がいても発症者は極めて少ないということです。1人の発症者がいたら1000人の保菌者がいると言われていています。発症者がいなくても保菌者がいる、海外から渡航してくる人達の中に保菌者がいる可能性が高いのです。お示した表は1985年にロータリークラブがポリオ根絶活動を始めて以来、拠出された金額の累計額は約1670億円です。30年以上の累計額とはいえ驚異的な数字だと私には思えます。しかもパキスタン、アフガニスタン以外は根絶を宣言済の国々です。これだけの資金が自然由来のポリオ感染拡大防止の為に費やされているのです。毎年、安定的にロータリーが資金を拠出してポリオの再感染を食い止めている、それを止めると発生しうる社会的なコストが莫大である。これこそが、今後もポリオプラスの為に募金及び活動を続けていく今日的な意味合いであると考えています。皆様の引き続きのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

【略 歴】

1957年10月 東京・両国生まれ

1980年4月 大手都市銀行入行

2005年5月 不動産投資ファンドへ転職

2009年8月 株式会社チャーチル・コンサルタンツ設立

～代表取締役役に就任 現在に至る

～内外投資家を日本における不動産投資事業、ベンチャー投資、公開支援等に
招聘する業務を執行

2016年7月 東京セントラルパーク入会

2022年3月9日(水) 第1503回例会

「END POLIO NOW = 気づきと実行 =」

国際ロータリー 第2580地区 ロータリー財団

2021-2022 ポリオプラス委員長 川松 保夫 氏

(東京セントラルパークRC)

2022年3月23日(水) 第1504回例会

「第2回クラブ協議会②」

職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕

ブランディング・公共イメージ向上委員会

クラブ研修リーダー 各委員長